

令和3年度千葉大学園芸学部 公開講座

次世代園芸産業を考える

企業的農園芸経営者，農園芸コンサルタント，流通・市場関係者，ワイン事業専門家等を講師として招き，法人化の必要性，求められる経営者としての資質，グローバル化を睨んだ経営展開方向，マーケティング戦略，労務管理，植物工場ビジネス，ワイン産業の現状と課題等について解説します。

農園芸経営者や農園芸関連産業関係者の方には，自身の経営発展のためのヒントや経営の企業化にともなって生じる課題を勉強する機会を，一般市民の方には農園芸産業の現状と経営者がどのような考えや方法で農産物の安定生産を行っているのかを知る機会を提供します。

開講場所

千葉大学園芸学部 E 棟 2 階合同講義室

〒271-8510 松戸市松戸 648(松戸駅から徒歩 15 分，タクシー5 分)

開講日時

令和3年4月8日～7月8日

毎週木曜日 4 限(14:30-16:00) 毎回 1 時間 30 分(全 13 回)

募集人員

10 名程度

募集期間

随時受け付け(予定人員に達し次第締め切ります)

受講手続

受講を希望される方は，以下の必要事項を記入のうえ，葉書，メールもしくは FAX により，以下までお申し込み下さい。

お申し込み先

〒271-8510 松戸市松戸 648

千葉大学松戸地区事務部松戸地区事務課学務係

E-MAIL zag8712@office.chiba-u.jp

FAX 047-308-8720

必要事項

氏名，勤務先，勤務先電話番号，勤務先 FAX 番号，E メールアドレス

(自宅から申し込まれる方は自宅住所，電話(FAX)番号，E メールアドレスで構いません)

※途中からや興味のある講義だけ聞くことも可能です。その場合も講義資料準備の都合上，参加人数を把握する必要があります。1 回のみ参加であっても，その旨お知らせいただけますようお願いします。

受講料

5,000 円(高校生および他大学等の学生は無料です。)

開講予定

第1回	4月8日	露地野菜産地における法人経営の現状と課題 -給料を払う側の論理、給料をもらう側の論理- 小松 真知子(有限会社小松園芸専務取締役)
第2回	4月15日	農業の新しいカタチを創る ~農業を地域にとって価値ある産業にする次世代農業経営とは~ 田中 進(株式会社サラダボウル代表取締役社長)
第3回	4月22日	花市場の現状と課題, 今後の方向性について 福永 哲也(豊明花き株式会社代表取締役社長)
第4回	5月6日	国内外のワイン産業の現状と課題, 将来方向性について 川俣 昌大(岡山理科大学ワイン発酵科学センター准教授)
第5回	5月13日	顧客目線の事業展開と6次化の取り組み ~トマト中心に地域密着経営~ 新美 康弘(株式会社にいみ農園代表取締役)
第6回	5月20日	植物工場ビジネスの現状と課題, 将来性 嶋村 茂治(株式会社ハンモ代表取締役社長)
第7回	5月27日	日本農業に栽培コンサルタントは必要か? 麻生 英文(株式会社デルフィジャパン取締役)
第8回	6月3日	農地所有適格法人HATAKEカンパニーの差別化戦略(仮題) 木村 誠(株式会社 HATAKE カンパニー代表取締役社長)
第9回	6月10日	‘花も団子も’の時代を作る -農業の中の花産業とは?- 武内 嘉一郎(株式会社グリーン武内代表取締役社長)
第10回	6月17日	苗産業の発展経過と現状の課題、将来方向性 延谷 磨(有限会社徳島シードリング代表取締役)
第11回	6月24日	日本におけるパプリカ生産の現況と課題, 展望 林 俊秀(株式会社 Tedy 代表取締役)
第12回	7月1日	農薬とは-農薬の安全性と適正使用について 草間 祐輔(住友化学園芸株式会社)
第13回	7月8日	都市地域におけるニホンナシ直売経営の現状と課題, 将来方向性について 田中 総吉(有限会社与佐工門代表取締役)

講座内容に関するお問い合わせ先

千葉大学園芸学部 大川 克哉(園芸産業創発学プログラム担当)

E-MAIL ohkawak@faculty.chiba-u.jp